

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.141

環境保全課 ☎ 5100

ウォームビズに取り組もう！

ウォームビズとは環境省が推進しているクールビズの冬期版で、適度な温度で快適に暖かく過ごすライフスタイルのことです。

冬は夏よりも省エネ効果が高いといわれています。寒さが厳しさを増すと、ついエアコンの設定温度を上げてしまいがちですが、設定温度を1℃低くすると約10%の消費電力の削減につながります。温度を控えるために（目安は20℃）上に1枚羽織る、膝掛けを使うなどして体感温度を高めましょう。

暖房器具については、エネルギー効率に着目しましょう。今持っている暖房器具の電気代がかかるなどエネルギー効率の悪さが気になるようなら、思



▲膝掛けを掛けると体感温度が上がります

い切つて新しくエネルギー効率の良い物を購入する方法もあります。部屋の大きさ、使用人数によつて、適切な暖房器具を選択する事も大切です。

大きな部屋に少人数しかいない場合、部屋全体を暖めるタイプの石油ファンヒーターなどを使用するのは非効率です。こたつや電気毛布を使用するなど工夫を凝らしましょう。

北海道では建物の断熱性が優れているため、豪雪の中にあつても快適だそうです。家を建てたりリフォームしたりする際には、機能やデザインだけではなくエネルギー消費を抑える採光や通風、断熱を考慮してみたいかががでしょう。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして！

環境事業課 ☎ 5304
環境事業所 ☎ 7710
総合支所



▲充電電池とリサイクルマーク（赤い丸部分）

「金属類及び破砕ごみ」の

持ち出しを控えてください

10月29日にリサイクルプラザで火災が発生し「金属類及び破砕ごみ」の処理ができなくなりました。復旧は平成31年3月末の予定ですので、定期収集への持ち出しは極力控えていただきますようご協力お願いします。

火災の原因は「金属類及び破砕ごみ」にリチウムイオン電池（充電電池）が混入し、処理工程で発火したことです。リチウムイオン電池は他の電池と比べて、衝撃や変形により発熱・発火を起こしやすい構造となっていますので「金属類及び破砕ごみ」や「プラスチック類」には絶対に出さないでください。

リチウムイオン電池の他、リサイクルマークがある充電電池は「処理困難ごみ」、リサイクル協力店、使用済小型家電回収ボックスへ出してください。

■ごみ処理家計簿

減量効果		10月分
前年	処理費用換算	624万円
同月比	排出量（市民1人1日当たり）	+45g(916g)

処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります